

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		適切ですが、利用児が増えてきているので、狭くなってきており、今後の課題です。ワンフロアですが、利用児は見渡せる環境ですので、その点は安心できます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で定められた基準を満たしています。今後も支援上必要な人員配置を維持していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	室内の一部に（畳スペースへの上り）段差がありますが、必要に応じ、職員が手を添え支援しています。玄関はスロープ対応にはなっておらず、検討課題です。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		今年度は、コロナ感染症の影響で、法人内研修が実施できませんでした。事業所内にて、各職員が目標設定と振り返りをしています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回アンケート調査や必要に応じて保護者の方からご意見を頂き、業務に反映させております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			東根福祉社会ホームページ及び事業所内掲示にて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者の外部評価は受けていませんが、法人内監査のみ行なっています。問題点については、職員会議において情報共有し、改善に努めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		毎年、外部研修・法人内部研修及び事業所内での伝達研修を実施し、資質の向上に努めていますが、今年度はコロナ感染症の影響で、研修自体がほとんどなかったため、研修の確保は難しい状況でした。
切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家族とのモニタリング・アセスメントの実施を通して、また支援現場での子どもたちの様子から現状の課題や目標、ニーズについて確認し、課題の整理を行い、計画作成会議を経て作成しています。
	⑩	子どもの適正行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		ソフトを使用しているアセスメントになるため、それが標準化されたものなのかは不明ですが、今後もより良いものを追求していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月ごとの担当職員が提案し、職員会議にて検討、調整し最終立案する流れをとっています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			該当する月に関わる季節行事を軸に、週ごとの大まかな活動を決め、固定化しないようなプログラムを心がけております。また、子供たちの希望も考慮しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		利用時間の長短によって、活動の在り方を考えてプログラムの作成をしていますが、個々の利用児の状況ややりたい事にも着目しています。無理のかからない範囲で設定するよう努力していきます。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方のご希望や意向を鑑み、個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせ作成していきます。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティング時及び支援開始前に当日の活動（支援）内容・タイムテーブル・役割分担について確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後や翌日のミーティング時、また職員会議において、支援の振り返りや情報共有を行ない、反省点を見出して、次の活動に生かせるようにしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用の日は必ず記録し、次の支援に生かすようにしています。連絡帳を通し、保護者の方にも確認していただいています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを実施し、支援の達成度、意向等を考慮しながら、計画の見直しにつなげています。問題がある場合は、適時、ご家族と面談をしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		基本活動のア.自立支援を主とし イ.創作活動 エ.余暇の提供を組み合わせている。また、ウ.ボランティア受け入れなど地域交流の機会はコロナ感染症の状況を見ながら検討していきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加し、必要時には担当職員も同席するようにしますが、コロナ感染症の影響で少人数での対応を心がけています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		年間計画、行事予定（下校時刻含）などは、保護者の方、もしくは直接学校からいただいています。不明な点があれば電話で確認したり、学校からも連絡をいただいています。また、可能な限り、送迎時の情報共有を心がけています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在是对应しておりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援事業所を通し、基本情報を頂き、最近の状況なども確認するようにしております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	○		相談支援事業所を通し、これまでの事業所での様子や経過状況を情報として提供しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	今年度、療育センター主催の発達障がい者支援センター研修会に参加させていただきました。また、保護者の方より通院時の結果や医師からの支援のアドバイスを教えて頂き参考にさせてもらっています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現状下では、コロナ禍でありますので、大人数での活動が制限されており、交流できませんが、今後そういう機会があれば積極的に検討していきたいと考えています。
	㉗	（地域自立支援）協議会への積極的に参加しているか		○	自立支援協議会児童支援部会に参加していますが、今年度はコロナ禍のため、活動自体は自粛傾向にあります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者の送迎時にやり取りを行ない、かつ連絡帳にて、その日の活動や子供たちの状況を報告しております。事案が大きい場合は、電話にて個別対応をしています。今後もご家族との相互理解を深めていけるように実施していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明させて頂いております。運営規程・重要事項説明書・支援内容に変更がある場合には、随時行っています。質問には常時対応しています。より分かりやすい説明を心がけていきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別支援計画の見直しに伴う、モニタリングでの面談や、突発的に生じた問題については、都度連絡をとりながら面談にて対応しています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会については、必要性およびご家族の考えや負担など、総合的に検討していくことになると思いますが、今のところは保護者会の立ち上げは考えてはいません。必要な場合は、検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情については、「ご意見箱」を設置し、法人の第三者委員、相談機関を重要事項説明書に明記しています。苦情がある場合は迅速に対応できる体制をとっています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人本部にて、ホームページの作成や更新を行なっています。また事業所でも「大げやきだより」を月に1回発行して、ご家族に活動風景をお知らせしています。今後も充実した内容になるように努めて参ります。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関しては、社外持ち出し厳禁、重要ファイルは鍵をかけて書庫に保管するなどの対応をしております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の利用児に応じた意思伝達の仕方を心がけています。(声掛け・視覚的支援)保護者の方へも連絡帳、お便り、電話などケースに応じて伝達の仕方を配慮しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度は、コロナ感染症の影響で、交流する機会を自粛しています。状況が落ち着いてきたら、再度検討していきます。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルは事業所内にファイリングしており、職員には周知しています。保護者の方には、要望があれば、いつでも閲覧できるようにしています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は2か月に1回は火災・地震・防犯などの訓練を行っており、必要に応じて消防署の方や警察署の方に協力を依頼しています。また、山形市の防災センターなどの外部の機関も利用しています。事業所ではAEDを設置しております。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を受けた職員により伝達研修を実施していますが、今年度は研修の受講機会がありませんでした。職員会議でも議題に挙げ、常日頃から虐待に向けての意識付けを図っております。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			対象の児童、保護者の方には、個別支援計画に記載し、ご説明し同意を得ています。身体介入がやむを得ず行なわれた場合は記録を徹底しています。今後、身体拘束に頼らない支援について検討していきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示を保護者の方からお聞きし、対応しています。現在、重篤なケースはありません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	職員会議で取り上げると共に、ITにて記録を管理し、事故防止に努めていきます。